

町政を問う!



小田 貞利 議員

イノシシ対策

問 イノシシ被害は年々増加、昼夜を問わず頻繁に出没、学校内にも侵入しており、子供達に危害が及ぶことが大変、心配される。早急な対応を。

答 すでに学校敷地内にワイヤーメッシュ等の柵の設置を行っている学校もある。

油田小学校は、先日現地調査を行い、出没箇所を確認したので、当面ワイヤーメッシュによる防護柵を設置したい。

問 すべての学校



人里に出没するイノシシ

に正規のフェンスが必要ではないか。
答 正規のフェンスでは高額になるため、防護柵設置を継続的に実施していきたい。

サメ対策

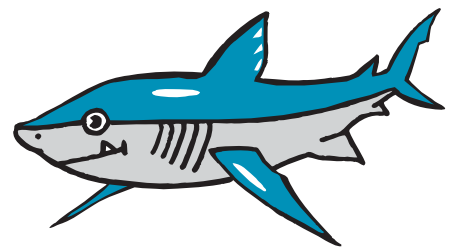
問 近年温暖化により、サメの目撃情報が増加し、昨年は公的機関からの情報も14件に及ぶ。

答 サメ除けネットの設置が必要。事故が起きる前の対応を。

町が管理している海水浴場は5箇所、そのうち3箇所は

設置していない。

全ての海水浴場に整備した場合、1千万円を超える予算が必要となり、毎年の設置費も高額となるため、3施設にはサメ除けネットを設置していないことを表示しており、今後は近海でサメ情報が発表された場合は、注意喚起の看板を設置する。



要望 一度設置すれば20年以上使用可能。毎年の設置費用も、地区関係者等と協議すれば対応可能と考える。再度検討を望む。

定住促進

問 町長は、定住対策を大きな柱として位置づけ、若者定住住宅用地整備事業の予算を計上。少しでも多くの若者が町内外で

仕事をするために、便利な場所に住宅用地の整備は必要であり、柳井・岩国のベクトタウン化を目指すことは大変重要なことだが、今現在、島に残り、あるいは、U・イターンして、農業、商工業で一生懸命頑張っている若い世代にも、同様の支援が必要。並行して平等な支援を望む。

答 昨年策定した周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略において喫緊に取り組むべき施策について計画を策定、若年層の就職先として企業誘致や起業など職の創設に対する支援、若者が本町に住み続けるため安価な土地提供に資する若者定住住宅用地整備事業、安価な賃料で住宅を提供する空き家活用住宅の整備などを実施予定。

定住促進については、やれることは全てやる覚悟を持ち臨んでいる。先鋭的な施策提言を頂きたい。

要望 漁業者、町外からの定住者も期待して待っている。早急に対応をしていただきたい。